



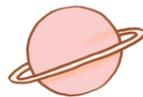
2021年 秋の読書週間

糸島市立図書館員おすすめの本

秋の読書週間（10月27日～11月9日）にちなんで、糸島市立図書館員おすすめの本を紹介します。図書館では各館の特集コーナーに、紹介した本をはじめ、おすすめの本を集めています。ご来館の際には、是非ご覧ください。

【表の見方】

書影	タイトル		所蔵館
			請求記号
	紹介文		
	著者	出版者	出版年月



【一般書】



	あの人の読書案内。		志摩館
			019.9ア
	<p>じつはサザエさんは推理小説が大好きだった！本当は読書家だったマリリン・モンローは、どんな本を読んでいた？デヴィッド・ボウイは？樹木希林は？</p> <p>各界の本好きのあの人がおススメする本がいっぱい。</p> <p>面白い本をお探しのあなた！きっと新しい世界の扉が開きますよ。</p>		
アンドプレミアム編集部	マガジンハウス	2021.6	

	大峯千日回峰行		本館
			188.5シ
	<p>千日間、山を歩き続けるという想像を絶する修験道の荒行、大峯千日回峰行を満行された大阿闍梨の塩沼亮潤さんが、当時の経験や学びを赤裸々に語った本です。心と体が極限まで追い込まれながらも、常に死と隣り合わせの大荒行を成し遂げた亮潤さんが語る言葉に、日々の有難さと感謝の大切さを改めて気づかせてくれます。</p>		
塩沼亮潤、板橋興宗／著	春秋社	2007.3	

	去られるためにそこにいる		本館
			371.4タ
<p>この本は、親のあり方、親と子、老親との関わり等、沢山のエピソードと共に書かれています。やがて、巣立っていく子どもをどっしり構えて見守るのも親の役割。でも、子育ては思い通りにいかないもの。あれこれ口出しや、指図が多くなっていませんか？</p> <p>そんな時、読んでみませんか？何だか温かい気持ちになれて、スーッと心が楽になれますよ。</p>			
田中茂樹／著		日本評論社	2020. 6

	野菜の花写真館		本館
			626ウ
<p>毎日食する野菜の花をどのくらい知っていますか？オクラ、くず、大根。普段目にする花に劣らず可憐で美しい花ばかりです。花を求めてやってきた蝶や蜂などの姿も一緒に、13年間かけて撮影した178種の野菜の花。多くの時間と労力をかけて撮影し集められたご苦労を思うと、じっくりページをめくって楽しみたい本です。</p>			
植松國雄／著		敬文舎	2021. 5

	蜜蜂と遠雷		二丈館・志摩館
			Fオ
<p>ピアノコンクールの頂点を目指す若き天才たちのお話です。最後に「終わった。」と思わず声に出してしまうほど、私はそのコンクール会場にいました。読んでいる間中、ピアノの音色が聞こえ、風景が浮かんでいきます。しばし日常から離れ、きっと皆さんの心の中に爽やかな風を感じさせてくれるでしょう。追伸：結果は見ない方が楽しめると思います。</p>			
恩田陸／著		幻冬舎	2016. 9

	農ガール、農ライフ		本館・志摩館
			Fカ・BFカ
<p>仕事も家も彼氏も失った32歳の主人公は、偶然目にしたテレビ番組から「農業女子」になることを決意。「農村ライフ」にむかって頑張る姿がリアルで、厳しい現実ばかりだけど、いいや！夢も希望もあるよ！と応援したくなるお話です。</p>			
垣谷美雨／著		祥伝社	2016. 9 2019. 5

	復活の日		本館・二丈館
			Fコ・BFコ
<p>1964年発表の近未来SF。昨年来のコロナ禍で、再び話題となりました。発表の年の意外な符合や緻密な描写、何より著者の先見性に驚かされます。注目すべきは、第4章、ある大学教授の最終講義。彼の「人類」に対する慨嘆は、コロナ以外にも数多くの危機を抱える現代人への警鐘と読むこともできます。</p>			
小松左京／著		角川書店	1980. 3、1979



	かならずお返事書くからね		本館
			Y289ア
	<p>アメリカの少女ケイトリンとジンバブエの少年マーティンの文通を通して、絆を深め、互いに支え合い、成長していく感動の実話です。</p> <p>ケイトリンの勇気ある行動といったら！自分の身に重ねて考えさせられ、大切なことにたくさん気づかされます。世界にもっと目を向けて、自分の何かを変えるきっかけとなる一冊になるはず。</p>		
ケイトリン・アリフィレンカ ／著 マーティン・ギャンダ／著 リズ・ウェルチ／編 大浦千鶴子／訳	PHP研究所	2018. 3	

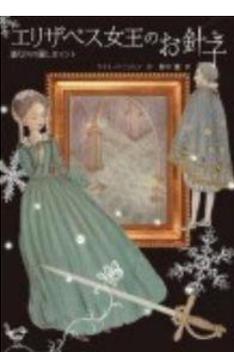
	図解でわかる 14歳から知る 日本戦後政治史		本館
			Y312ズ
	<p>高校の授業で、日本史が近代まで辿り着かない、という話はよく聞く。明治維新まではなんとか進んでも、戦後となると、どんな人物がいてどういう働きをして、その結果歴史がどう動いていったか、というようなことが疎かになりがち。戦後の日本を、年代を小刻みにして図や写真でわかりやすく、俯瞰的に説明したのがこの本。中学生にもOK！</p>		
インフォビジュアル研究所／著	太田出版	2018. 10	

	檻を壊すライオン		本館
			Y323ハ
	<p>憲法改正の話は、ニュースなどでよくみかけるが、何が問題なのかよくわかっていなかった。私には関係ないことなのかなあと...</p> <p>この本は、全国で約500回開催された憲法講座のなかの「統治機構」「憲法からみた最新の時事問題」をまとめたもの。</p> <p>憲法を守る主体は公務員。へえ～！知るって面白い！</p>		
椋大樹／著	かもがわ出版	2020. 11	

	小やぎのかんむり		本館・志摩館
			YFイ
	<p>中3の夏休みに、人里離れたお寺でのサマーキャンプに参加した夏芽。背景に家族の悩みを抱えていた夏芽は、5歳の雷太、高1の葉介や周りの大人たちとの関わりにより、人の優しさや温かさに触れ、成長していく。人との出会いのすばらしさと、誰もが大切な存在であることを教えてくれる作品。</p>		
市川朔久子／著	講談社	2016. 4	

	卒業旅行		二丈館
			Y F コ
<p>大切な人を失ってしまったことがある人は、悲哀と喪失感をどう乗り越えるのだろうか。</p> <p>ひたすらに悲しみ嘆き続ける？</p> <p>自分を責め続ける？</p> <p>何かのせいにしたくて、どこかに訴える？</p> <p>それとも、大切な人を奪った者に、死という厳罰を求めるのか？</p> <p>親友を失ったナナと、バンド仲間の3人は、5人で行くはずだった卒業旅行へと踏み出せるのか？</p>			
小手鞠るい／著		偕成社	2020. 11

	薬屋のひとりごと 1		二丈館
			Y B F ヒ
<p>後宮で下女として働くことになった薬屋の猫猫^{まおまお}が、その知識を活かして宮廷内の数々の難事件を解決していきます。薬草好き、なにより毒が好きで変わり者の薬屋。物語の謎解きのテンポもよく面白いです。出てくる登場人物も皆魅力的！不愛想の猫猫に近づいていく美形宦官の壬氏^{じんし}、二人の生い立ちや関係も楽しみなポイントです。</p>			
日向夏／著		主婦の友社	2014. 9

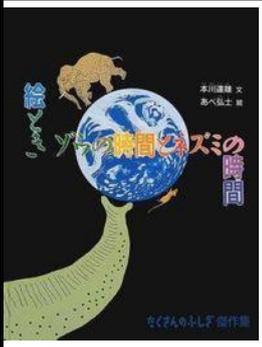
	エリザベス女王のお針子		本館・二丈館・志摩館
			Y 9 3 3 ペ
<p>昔の王侯貴族の衣装の豪華さには感嘆します。当時はすべて人手に頼っていたのですから。この本は、そんな衣装を縫っていた女の子が、女王暗殺の陰謀に巻き込まれてしまう話です。たいへんな目に会いながらも、お針子の仕事を愛し、己の居場所を見定め、しっかりと前に進んでいく主人公の幸せを願わずにいられません。</p>			
ケイト・ペニンントン／作 柳井薫／訳		徳間書店	2011. 8

	ゴースト・ボーイズ		本館
			Y 9 3 3 コ
<p>ジェロームという12歳の黒人少年が白人警官に射殺される。ジェロームはゴーストとなり、裁判の詳細や、銃撃した警官の娘セアラの苦しみを知る。少年の死後の世界を通して、黒人差別の実態が描かれており、巻末に読者が家族や友人と感じたことを話し合えるような質問集がついているので「うちどく本」としてお勧めです。</p>			
ジュエル・パーカー・ローズ／著 武富博子／訳		評論社	2021. 4

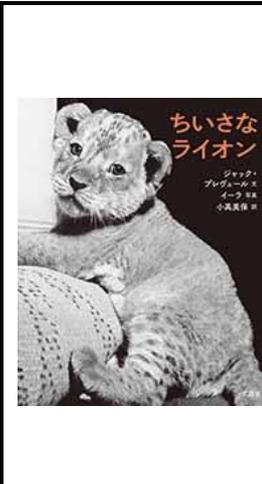


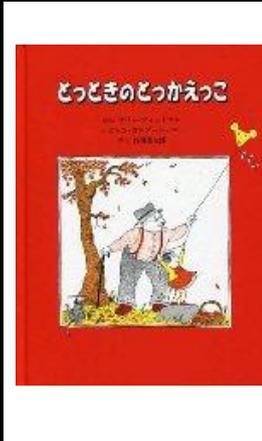
【児童書】

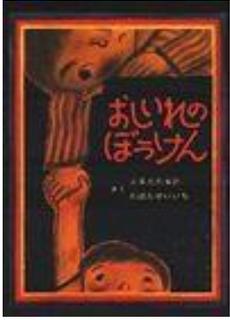


	絵ときゾウの時間とネズミの時間		本館・二丈館・志摩館
			481モ
	大きくてゆったりしているゾウ、小さくてせかせかしているネズミ。ずいぶん違うけれど、体重と食べる量、生まれてから死ぬまでの時間、心臓が1回打つ時間などいろいろなことをくらべてみると思いもよらないことが見えてきます。生きものの不思議が、絵で見てわかる楽しい1冊です。		
本川達雄／文、あべ弘士／絵		福音館書店	1994. 4

	金曜日がおわらない		二丈館
			933ド
	もしあなたがプレッシャーやストレスがいっぱいで爆発しそうな毎日を送っていたら、ぜひこの本をおすすめします。主人公のレニーもそんな毎日を過ごしていましたが、あるキッカケで「サイアクな金曜日」からぬけ出せなくなってしまいました。さてレニーはどうしたでしょう？全てはたったひとつの小さな行動から始まります。		
アニー・ドルトン／作 岡本浜江／訳、風川恭子／絵		文研出版	2004. 6

	ちいさなライオン		本館・志摩館
			Eイ
	あどけない子ライオンの表紙をめくると一転、牙をむく母ライオンの凄みに思わず目をむいてしまう・・・！ イーラの写真に詩人J・プレヴェールが文章を付けた作品。同じ写真を使い絵本作家のM・W・ブラウンが文章を書いた『ねむいねむいちいさなライオン』と比べると面白い。写真の構成や文章によって生まれる物語がこんなにも違うことに驚かされる。想像/創造力は無限なのだ。		
ジャック・プレヴェール／文 イーラ/写真、小高美保／訳		文遊社	2021. 2

	とっときのとっかえっこ		本館・二丈館・志摩館
			Eギ
	ふたりはお隣に住む者同士。大の仲良しですが、年の差はおじいさんと孫ほどもあります。おじいさんの老いと子どもの成長の対比を見ているとなんとも切なくなったりするのですが、互いを思いやる気持ちが感じられてとても優しい気持ちになります。折に触れて読みたくなる絵本です。		
サリー・ウィットマン／文 カレン・ガンダーシーマー／絵 谷川俊太郎／訳		童話館出版	1998. 2

	おいしいのぼうけん		本館・二丈館・志摩館
			Eタ
<p>「言うことを聞かなかったらおいしいにいれるよ。」子どもからしたらおいしいは暗くて怖い所です。さくら保育園でおいしいにいれられたあきらとさとしが手をつないで、ねずみばあさんから逃げようとぼうけんへ出発！また、おいしいの外で2人を見守っていた先生の気持ちの揺れにも注目です。</p>			
ふるたたるひ／作 たばたせいいち／画		童心社	1980

	わたしのかみがた		本館
			Eヒ
<p>ぼうしをとると、おっとびっくり！どうしてそんなかみがたなの？ 長くのぼしたり、短くしたり、パーマをかけたり、カラフルな色にそめてみたり。たまに失敗することもあるけど、そんなのへっちゃら。 だって、そのおかげで、こんなにステキなわたしだけのかみがたになったんだもん♪</p>			
樋勝朋巳／作		ブロンズ新社	2021. 6

	4こうねんのぼく		本館・志摩館
			Eヒ
<p>せんせいあなのー。なにやら宿題について「言い訳」をはじめめるのかな。お父さんや弟と三人で見上げた夜空は満天の星で、感動したんだね。にやにやしつつ、その先に進むと……。今ここにいない人にまた会うためにある決心をするわが子を、お父さんが泣き笑いで見守っている様子が目に浮かぶ。読み終わるころには涙で前が見えなくなる。</p>			
ひぐちともこ／作		そうえん社	2005. 12

	ペレのあたらしいふく		本館・二丈館・志摩館
			Eベ
<p>ペレの新しい服を、たくさんの方が手間をかけて作り上げていきます。でも、ただじゃありません。ペレは自分の出来ることで自分の新しい服を作り上げていきます。物を大切にする素晴らしさを教えてくれる絵本です。北欧スウェーデンの美しい自然を背景にした素朴であじわいのある絵にほっこりしますよ。</p>			
エルサ・バスコフ／作、絵 おのでらゆりこ／訳		福音館書店	1978

- 糸島市図書館本館 〒819-1119 糸島市前原東一丁目3番1号 (Tel 321-1432)
- 糸島市図書館二丈館 〒819-1692 糸島市二丈深江1360番地 (Tel 332-2118)
- 糸島市図書館志摩館 〒819-1392 糸島市志摩初30番地 (Tel 332-2119)
- ★ パソコンサイト <http://www.lib-itoshima.jp>
- ☆ 携帯サイト <http://www.lib-itoshima.jp/WebOpac/mobile/index.do>

